

掲示板のことば

そうだ

うれしんだ

生きる

よろこび

たとえ

胸の傷が

いたんでも

「アンパンマンのマーチ」やなせたかし

2024. 05

来年2025年のNHKの朝ドラ前期は、やなせたかしさんとその妻小松暢^{のぶ}さんがモデルとなる『あんぱん』ですが、その配役も発表になりましたね。

やなせたかしさんはご存知のとおり、アニメ『アンパンマン』の作者であり、そのテーマ曲である「アンパンマンのマーチ」の詩も書かれています。

この言葉は、そのテーマ曲の歌い出しの言葉です。ご存知の方も多いことと思いますし、一緒に歌ったこともあるのではないのでしょうか。

楽しそうなメロディに乗せて、子どもたちが大きな声で歌います。大人も歌いますね。もしかすると、おじいちゃんおばあちゃんも歌うかもしれません。

「生きることがうれしい」「生きることにはよろこびがある」と楽しそうに歌いますが、その後に「たとえ胸の傷がいたんでも」と続きます。

なぜ、そんなことを言うのでしょうか。「生きるとはうれしくてよろこびがある」だけでいいじゃないですか。『アンパンマン』という子ども向けのアニメの主題歌なのですから。なぜ、「胸の傷がいたんでも」と言うのでしょうか。

やなせさんが、子どもも大人も歌うであろうこの曲の詩に込めた願いは何だったのかが朝ドラで描かれることを楽しみにしていますが、今私はこう思うのです。

人は誰もが、老若男女を問わず何かしら心に傷を抱えて生きているのでしょう。でも、たとえ胸が痛むことがあっても、生きることには喜びがあり、うれしいと。この詩から、生まれたことの意味と生きる喜びを大切にしてほしいと思います。

真宗大谷派 光明寺住職 小林尚樹